

令和4年度 事業報告書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日)

特定非営利活動法人パトリ
放課後デイサービスこすもす

1 事業の成果

心身の発達に遅れや障がいのある学齢児童を対象に放課後等デイサービスを実施した。

2 事業内容

- ① 個別支援計画に沿った支援；利用する子どもの個々のニーズに適した個別支援計画を作成し、6ヶ月1回以上の計画の必要な見直しを行いながら発達に応じた段階的、継続的な支援を展開し、子供たちの成長の過程で必要な支援を行った。

利用者数推移

利用開始月	新規利用者数	退所者数	月末利用者数
4年4月	2	0	13名
4年7月	1	0	14名
3年3月	0	2	12名

- ② 当初の目標を達成した2名が進学を機に3月で利用終了となった。

- ③ 社会性の獲得、友達との関わりやの深まりなどをその目的の一つとして、定期的な外出やイベントなどを計画したものの、新型コロナ感染対策での外出の制限はなかったが、雨天のため中止や変更を行って実施した。

外出実績

主な外出先	実施回数	目的及び成果
近隣公園、郊外大型公園など	25回	地域や郊外の公園で、遊具などを共有する中で他者との距離感を掴み、譲り合いなど、良好なコミュニケーションが自然に身につく経験を重ねた。地域の子供たちとの自然な交流が楽しめた。
水族館、	2回	水族館では、生き物の生態を学ぶ機会と同時に生き物との触れ合いで、命への畏敬が自然に繋がる体験として実施した。
お花見、内海海水浴、綾トレッキング、プール、加江田溪谷	8回	毎年、季節に合わせて、海や川、山など自然の中で心身をリフレッシュすると共に豊かな感性に繋がる体験を行った。プールや海水浴は、コロナ禍開けで久しぶりに実施して季節を満喫して貰った。
電車で青島外出	1回	公共交通機関を利用して外出を行った。
社会見学 カーフエリー、科学技術館、学習館、博物館、	5回	身近で重要な役割をしている機関を知る機会として様々な場所で働く人の存在や生活の仕組みを理解できる体験として、今年度はカーフェリーを見学した。科学技術館、学習館、美術館を活用した。
体験	6回	清武ホースパークでの乗馬体験や動物との触れ合いなどの体験を毎年定期的に体験することで、豊かな感性に繋がる支援として実施した。

初詣	1回	場所を変えながら毎年初詣を継続して実施している。今年度は鶴戸神宮に行った。
----	----	---------------------------------------

④ 季節の行事～一般的な季節の行事を活動に取り入れて実施した。

- ・七夕・夏休みイベント・ハロウィン・Xmas・凧揚げ・節分・ひな祭りなど
- ・季節に合わせて、植物を育て、水まきや雑草取り、収穫などを楽しんだ。香り、大きさ、色といった植物にある様々な要素で五感を刺激する健康的な活動として実施した

⑤ クッキング～季節ごとにクッキングを実施した。

- ・こどもが興味のあるおやつや昼食を自分で作る体験を通して、その行程を楽しみながら、自分の責任性と他者との協調性を体験から会得していき、五感の刺激を味わう活動を実施した。
- ・クッキングを科学するサイエンスクッキングで、素材の変化や色に変化など実験的な体験を行った。

⑥ KIDS ヨガ

講師による KIDS ヨガを毎月 1 回行い、ストレッチやリラックスなど子供の心身の健やかな成長に寄与する事を目的として実施した。

⑦ 園芸

季節に合わせて、野菜や果物、花などを育てた。水やり、肥料やりなどを行うことで、綺麗な花が咲いたことを喜び、立派な新鮮な実をみんなで味わった喜びなどを、自分の手で作り出す体験として実施した。

(3) 苦情解決

実績なし。

(4) 情報開示

実績なし。

(5) 決算報告

別紙事業活動計算書の通り

3. 会議

会議名	回数	出席者
職員会議	月1回	全職員
ケースカンファレンス	11回	管理者・児童発達支援管理責任者・支援員
スタッフミーティング	毎日	管理者・児童発達支援管理責任者・支援員

4. 研修実績

(1) 施設内

研修名	回数	出席者
虐待防止・権利擁護	1回	全職員
支援の基礎など	2回	全職員

(2) 施設外研修

研修名	主催	出席者
-----	----	-----

障がい者虐待防止・権利擁護研修	宮崎県 宮崎県社会福祉協議会	指導員
強度行動障害支援者養成研修	宮崎県中央発達障がい者支援センター	指導員

5. ボランティア受入実績

延べ人数（実人数）

令和1年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
合計	0	2 (2)	7 (7)	5 (5)	1 (1)	0 (0)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	1 (1)	0	16 (16)

コロナ禍でボランティアの受け入れを制限していたが、内容に応じて受け入れた

6. 防災避難訓練

避難訓練（地震・火災）毎月1回実施した。